

『えひめ夢提案制度』 夢提案様式

提案主体名		提案主体分類コード	○ 任意団体
提案の公開の可否	公開	※「非公開部分有り」の場合は、下記に理由を具体的に記入。	

要望事項(事項名)	えひめ台湾スポーツ交流推進事業の交付対象団体拡大について	<small>制度の所管・関係 省庁</small>	
根拠法令等	スポーツ基本法	プロジェクト名	えひめ台湾スポーツ交流プロジェクト
提案分野	9. 教育分野		

求める措置の具体的内容	<p>当方が、台湾とのスポーツ交流を検討したいと思い、地域スポーツ課(以前の担当部署、現オリパラ・マスターズ推進室)に相談したが、愛媛県スポーツ協会の加盟団体でないと要綱上、申請出来ないと断られた。聞いたところでは、その他、大学短大、県内のプロスポーツチームの関係のみに限定されているとのことであった。(交付要綱第5条)</p>
--------------------	--

具体的事業の実施内容・提案理由	<p>愛媛県スポーツ協会へは、国民体育大会の正式種目団体が主に加盟している。しかしながら、国際的に認められたスポーツとしてはオリンピック種目、アジア大会種目、パラリンピック種目があり、愛媛県内でも県スポ協非加盟団体であっても、オリンピック種目として活動している競技団体も存在している。また、障がい者スポーツとしては、愛媛県障がい者スポーツ協会があり、県内の障がい者スポーツの統括団体として存在しているが、要綱には盛り込まれていないため、申請する資格がない状況である。</p> <p>そこで、えひめと台湾のスポーツ交流を更に促進していくものとするため、①国際的に競技として認められているJOC(日本オリンピック委員会)の加盟スポーツ種目の県内団体は申請を認める。②障がい者スポーツもJPC(日本パラリンピック委員会)に加盟している県内の種目団体も申請を認めるように、対象を広げていただきたい。</p> <p>そうすることで、健全者・障がい者問わず国際的なスポーツ交流が広がり、また、より多くのスポーツ種目でえひめと台湾との交流の輪が広がり、台湾側とのマッチングの機会が増え、県のスポーツ振興にも繋がると考えられます。</p>
------------------------	---

提案が実現した場合に、補助制度「新ふるさとづくり総合支援事業」を活用して実施したい事業の概要(※該当がある場合のみ記載)

最終回答	<p>えひめ台湾スポーツ交流推進事業は、台湾でのスポーツ交流事業に対し補助を行い、台湾とのスポーツ交流の推進、友好関係の強化により本県のスポーツ振興を図ることを目的としており、予算の範囲内でより効果的な事業に補助を行うため、補助対象となる団体は限定的なものとしています。判断基準としては、県内に一定数以上の競技者がおり、本県のスポーツ振興に寄与すると認められるものとし、その根拠として県スポーツ協会加盟団体であることを要件としています。</p> <p>ご提案のうち、県スポーツ協会非加盟オリンピック種目団体の追加につきましては、上記趣旨を鑑みると、オリンピック種目の団体であっても県内競技者数が少ない等、当該基準を満たすとは必ずしも言えないことから、補助対象への追加は困難と考えます。</p> <p>また、障がい者スポーツについては、県では台湾との障がい者スポーツ交流についても推進しているところであり、現制度でも県スポーツ協会加盟団体や大学等が取り組む障がい者スポーツ交流であれば対象となりますが、これまで活用実績がない現状を踏まえ、補助対象に「県障がい者スポーツ協会加盟団体」と明記することで認知を広げ、積極的な活用を促進してまいります。</p> <p>ただし、こちらにつきましても上記の基準を踏まえて判断することとなりますので、パラリンピック種目の団体であっても県協会非加盟団体は対象外とさせていただきます。</p> <p>県スポーツ協会、県障がい者スポーツ協会非加盟の団体等においても、精力的に活動されていることと存じますが、限られた予算であることから、一定の要件を設けている旨、ご理解いただき、県協会への加盟についてご検討をお願いします。</p> <p>なお、大学・短大については、スポーツ交流だけでなく大学間等の様々な交流への発展が期待できること、プロスポーツチームについては、本県のスポーツ振興とともに高いPR効果が期待できること等を踏まえ、補助対象としています。</p>
-------------	---

対応区分	A-5(対応不可)
-------------	-----------